

「生活Can do」の概要

生活Can do

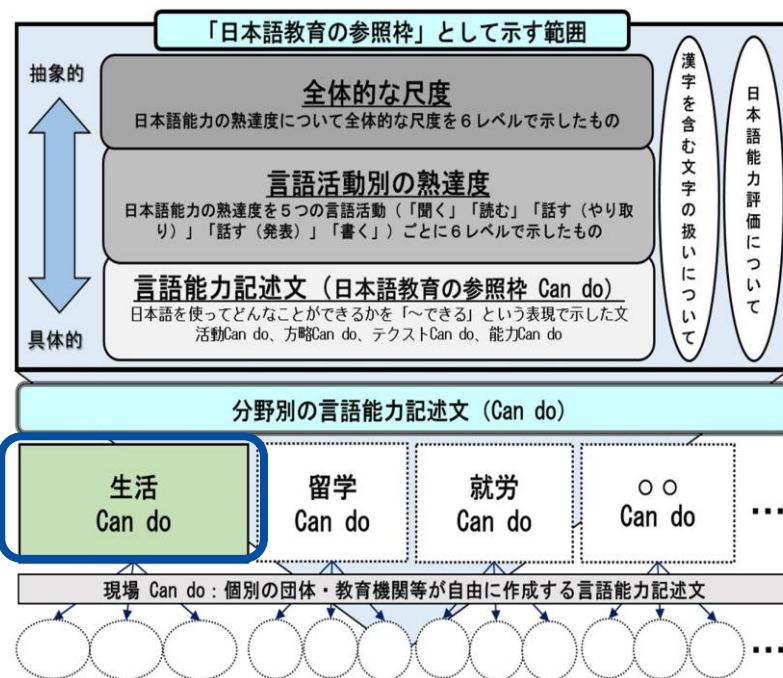
「生活Can do」は、国内に在住する外国人（「生活者としての外国人」）が日常生活において、日本語で行うことが想定される言語活動を例示したもの。

「日本語教育の参照枠」に示された分野別の言語能力記述文 (Can do) の一つ。

対象となる範囲

「地域における日本語教育の在り方について」（令和4年11月、文化審議会国語分科会）に示される「生活上の行為の事例」（p.79参照）

生活上の行為の事例	I 健康・安全に暮らす	VI 働く
	II 住居を確保・維持する	VII 人とかわる
	III 消費活動を行う	VIII 社会の一員となる
	IV 目的地に移動する	IX 自身を豊かにする
	V 子育て・教育を行う	X 情報を収集・発信する



レベル

基礎段階の言語使用者 (A1、A2) から
自立した言語使用者 (B1、一部B2) までを想定

言語活動

聞くこと、読むこと、
話す（やり取り）、
話す（発表）、
書くこと

例

<やり取り・A1>店で買い物をするとき、買いたいものや個数を伝えることができる。【Ⅲ消費活動を行う】

<読むこと・B1>適切な医療機関を選ぶために、病院のサイトなどの、ある程度長い文章に目を通して、診療科目や診療内容など、必要な情報を探し出すために読むことができる。【Ⅰ健康・安全に暮らす】

「生活Can do」の具体例

自己紹介についての言語活動例

自治会や地域のイベントなどで、初めて会う人たちの前で自己紹介するとき、自分の名前、出身地などをごく簡単な言葉で言うことができる。

Ⅷ社会の一員となる【発表:A1】

初めて会った人の前で自己紹介するとき、自分や家族がどこに住んでいるか、何をしているかなど、短い簡単な言葉で話すことができる。

Ⅶ人と関わる【発表:A2】

自治会の行事などで初めて会った人に話しかけ、住んでいるところや家族のことなど身近な話題について質問したり、質問にある程度詳しく答えたりして、会話を続けることができる。

Ⅷ社会の一員となる【やり取り:B1】

自治会などの集まりで簡単な自己紹介をした後で、日本での生活、就労、日本語学習など、様々な話題についての質問に、苦労話や抱負を交えて答えることができる。

Ⅶ人と関わる【やり取り:B2】